

総合患者支援センターニュース

〒700-8558
岡山市北区鹿田町2丁目5番1号
岡山大学病院
総合患者支援センター
☎086-223-7151 (代表)
☎086-235-7744 (直通)

Integrated Support Center for Patients and Self-learning
Okayama University Hospital



センターの活動に関しては
ホームページ (<http://www.cc.okayama-u.ac.jp/>)
をご覧ください。

地域連携部門の本年度の取り組みについて

総合患者支援センター 地域連携部門 副センター長 合地明

平素、地域連携部門業務の運用におきまして、多大なご理解ご協力を賜り、深謝申し上げます。

昨年度より組織体制の見直しを企図し、部門関係者一同、日々努力しておりますが未だ皆様方のご期待に添える状況にいたっておらず深く反省いたしているところです。

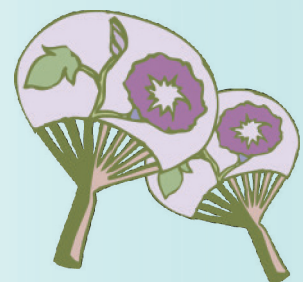
地域連携部門としては岡大病院の前方ならびに後方連携の窓口として、患者様にストレスを感じることなく、本院を受診していただき、満足していただける医療提供を支援することをモットーに日々、業務に当たっております。業務の柱でもあります診察予約に関しまして昨年度より、院内各診療科、外来担当医の協力の下に地域連携室としての予約枠の提供をいただき、比較的スムーズに予約取得、関係医療機関にお返事ができる体制が整いつつあります。これに加えて本年4月からは、岡山大学病院地域連携ネットワークを利用することによりオンライン予約も可能となっております。本システムは今年末に岡山県が地域医療再生事業の一環として構築をしている岡山県地域医療ネットワークの先駆けとなるシステム（国の方でも検討されている『どこでもマイ病院』につながるもの）です。このシステムを利用することにより、患者様の同意が得られれば、当院における診療情報（診療記録、検査画像、血液検査結果、処方内容など）がインターネットを通じて、ご紹介もとの医療機関でもご確認いただけ、患者様にとっても安心して切れ目のない医療の継続が可能となります。是非ともご活用いただければと考えます。



また、地域連携室では後方連携の一つとして岡山県がん診療連携協議会の事業協力として5大がん（胃、大腸、肝、肺ならびに乳がん）の地域連携パスの運用の支援も行っております。大腿骨頸部骨折、脳卒中や心筋梗塞、糖尿病などの各種疾患で各医療機関の役割分担を明確にし、病病、病診連携で患者様に地元のかかりつけ医とともに専門医療機関の専門医の二人主治医による安心な医療体制の環境作りも進めていっております。

システムを活用したネットワークの整備により、より良い医療連携を実現していく所存ですが顔の見える関係すなわちヒューマンネットワーク作りにも積極的に取り組んでいきたいと考えております。

今後とも地域連携部門に対する建設的なご意見、ご要望をお待ちしておりますので引き続きよろしくご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



がんを抱える患者さんへ～院内でこんな活動をしています～



総合患者支援センターでは「患者様に最良の医療とケアを提供するために活動します」を合い言葉に、ボランティアの方々と連携しながら、患者・家族の支援活動を行っています。
今回はがんを抱える患者さんが院内で活動いただける内容をご紹介します。

会の名称	がんと上手につきあうためのミニ講座
会の目的 活動内容	一昨年の1月より「がん患者サロン」を各月で開催していますが、参加者より「病気や治療に関する情報を知りたい」という要望があり、専門職による講演会を企画しました。患者さんやそのご家族がご自宅で生活していただくときのヒントを提供させていただきます。
対象者	がん患者およびそのご家族
活動日時	偶数月 第2木曜日 14:00～15:30 (13:45 開場)
活動場所	入院棟 11 階 C カンファレンスルーム
会に関心のある患者さんへ一言	事前申込不要です。皆様、ふるってご参加下さい。
お問い合わせ先	総合患者支援センター 086-235-7744

がんとのおつきあいに
関する情報が欲しい

今後のミニ講座の予定は下記になります。

日程	内容	講師
平成 24 年 10 月 11 日 (木)	抗がん剤治療の副作用について ③「化学療法時の食事の工夫」	臨床栄養部 管理栄養士 坂本 八千代氏
平成 24 年 12 月 13 日 (木)	「緩和ケアについて」	緩和医療学講座 教授 松岡 順治氏
平成 25 年 2 月 14 日 (木)	「がんを抱えたときの心構え」	精神科神経科 教授 内富 庸介氏

会の名称	アニマート (イタリア語で「生き生きと元気良く」という意味です)
会の目的 対象者	本会は会員相互の交流と協力を通じて、同じ病と悩みをもつ者に手を差し伸べて、助け合い、分かち合うことを勧め、会員一人一人が「生き生きと元気良く」日常生活を送ること、更には乳がんの早期発見、早期治療を呼びかけ、社会に貢献する活動を目的におこなっています。岡山大学病院の乳がん患者を中心に、乳がん患者によって構成されています。
活動日時 活動内容	日曜会: 不定期で随時次回の予定が立てば外来にポスター掲示でお知らせ。医療者の講演が中心です。 休日開催で時間は 14:00～15:30。 茶話会: 本年度より、偶数月の第3水曜日・奇数月の第3木曜日 14:00～15:30 (ただし、8・11・12月は活動休止) 患者さんだけの集まりとなります。
活動場所	日曜会: 入院棟 11 階カンファレンスルーム 茶話会: 中央診療棟 4 階 多目的学習室
会に関心のある患者さんへ一言	予約は不要です。個人情報保護を大事に考え活動しています。茶話会は先輩患者さんに会える場所です。気軽にお越し下さい。じっくり話し、心を軽くして帰っていただけるよう頑張っています。
お問い合わせ先	乳がん治療・再建センター 086-235-7254
ピアサポーターとは?	病院内で行う患者ボランティアです。あなた個人の悩み・迷い・不安に後一步の後押しが出来るよう先輩患者さんお二人がお話しを聞いてくれます。(都合によりH24年7月～12月末まで活動は休止しています)

乳がんの患者同士で
交流したい

会の名称	オストメイトサロン
会の目的	悩みを相談したり、情報交換を行う。
対象者	現在オストメイトである方、これからオストメイトになろうとしている方、オストメイトをもつ家族の方など。
活動内容	①自分の意志で、自由に参加できる集いを持つ。 ②先輩・後輩オストメイトが交流の中で情報交換をする。 ③胸の内を話すことで、自分ひとりではないことを知ってもらう。 ④ストーマを受け入れながら前向きに明るく日常生活が送れる手助けをする。
活動日時	平成16年1月に活動を開始しました。毎月第1木曜日(1月・5月は第2木曜日) 10:00～15:00
活動場所	中央診療棟4階 多目的学習室
会に関心のある患者さんへ一言	院内で研修を受けた「ピアサポーター証」をもつオストメイトが中心となって開催しています。私たちは、それぞれが強いられることなく、自分の意思で自由に語り合える「憩いの場所」作りを心がけています。そして、「自らがつないでいきたいと思う気持ち」を大切に「サロンの心」をつないでいっています。一度覗いて行かれませんか?
参加されている患者さんの感想	参加して良かったと思うことは、仲間がいてわかり合えること。素晴らしい情報が、たくさんいただけること。元気になること。オストメイトになって幸せではないけど、不幸ではないと思える事が、一番大きなことです。
ピアサポーターとは	個々のもとめるもの(ニーズ)はさまざまです。同じ体験をした人だからこそ、寄り添えるんだと思います。手術前の患者さん・手術後の患者さん・なかなか外に出ていけない患者さん・つらい思いから抜け出せないでいる患者さん…たくさんの方が「これからを、よりよく過ごして行かれる」きっかけだけでも作ってあげられたらと思います

人工肛門・人工膀胱を保有
する患者同士で交流したい

会の名称	がんサロン岡大
会の目的 対象者 活動内容	がん患者さんやご家族が、病気のことや生活上の不安等を語り合える場になり、交流がもてることを目的とし、奇数月に一度当院で開催し、2時間程度の語り合いの時間をもっています。また、偶数月の第3金曜日には、茶話会を開催しています。原則として、岡山大学病院に通院している、または入院している患者さんとそのご家族が対象です。
活動日時	*がんサロン岡大 奇数月の第3金曜日 14:00～16:00 7/20・9/21・11/16・1/18・3/15 *茶話会 偶数月の第3金曜日 14:00～16:00 8/17・10/19・12/21・2/15
活動場所	*がんサロン岡大 入院棟 11 階カンファレンスルーム C (7/20のみ入院棟 11 階カンファレンスルーム G・H) *茶話会 中央診療棟 4 階 多目的学習室
会に関心のある患者さんへ一言	がんサロン岡大や茶話会への参加は、特に事前の申し込みは必要ありません。同じがんの患者さん同士で語り合うことで、不安な気持ちやつらさを軽減できる場になればと思います。 茶話会も、当院の患者さんやご家族であれば、自由に入出入りしていただけます。お気軽にご参加ください。

がん種を問わず、患者
同士の交流をもちたい

【歯の衛生週間イベントを開催しました】



6月7日（木）に「歯ッスルフェアー2012～キラキラスマイルで歯ッピライフ～」を開催しました。これは毎年、6月4日～6月10日の歯の衛生週間にちなんで、当院が行っているイベントです。

内容は、ミニ公開講座、体験ブラッシング、お子さんへのフッ素塗布、特殊技工物の展示、看護師による嚥下食の展示など、お子さんから年配の方々まで楽しめる内容となっております。なかでも、「チェロとピアノの演奏会」は、毎年楽しみにして来て下さる方もおられ、今年は230名近くの聴衆に囲まれての演奏会となりました。

このイベントの目的は、

- * 市民の方々に広く岡山大学病院を知っていただく事・歯科疾患の予防や、より専門的な歯科に関する知識を市民の方に得ていただく事にあります。来年度も是非たくさんの方々に参加いただけるよう願っております。



【看護の日・看護週間】



5月12日は、国際看護師協会により国際ナースデーとして制定されており、フローレンス・ナイチンゲールの誕生日に由来し、ナイチンゲールの日ともよばれています。日本でも厚生労働省により、「看護の心、助け合いの心をすべての人々が分かち合う」ことを願い、その日を含む日曜日～土曜日までの一週間を「看護週間」とし、5月12日を「看護の日」と制定されています。

日本看護協会では、本年もいろいろなイベントが行われました。当院でも、看護週間に看護職員全員が「病院オリジナルワッペン」を付け、院内数カ所に看護週間の垂れ幕の設置や各部署・チームの「昨年度の目標の成果・アピール」のポスターの展示を行い、看護の日のアピールを行いました。また、「ふれあい看護体験」には26名の高校生の参加があり、今年は看護師と同じ白衣を着用して実際に看護師と半日一緒に行動しました。イベントを通して、「看護の心」にふれて頂けたでしょうか。（文責：広森 由紀）

【高額な外来診療を受ける皆様へ】

これまでの高額療養費制度の仕組みでは、高額な外来診療を受けたとき、ひと月の窓口負担が自己負担限度額以上になった場合でも、いったんその額をお支払いいただいていましたが、平成24年4月1日からは、限度額を超える分を窓口で支払う必要はなくなります。

この取り扱いを受けるには、事前に「限度額適用認定証」を入手していただく必要があります。認定証の交付手続きについては、ご加入の健康保険組合、協会けんぽ、または市町村（国民健康保険・後期高齢者医療制度）などにお問い合わせください。（70歳以上で非課税世帯以外の方は新たな手続きは必要ありません）

【構内乗り入れバス運行開始】

平成24年3月26日から、病院駐車場の混雑緩和の一策として岡山駅～岡山大学病院間の路線バスの構内乗り入れが始まりました。

バスは病院構内（外来棟玄関前）に新しく設けられた「大学病院」バス停で乗降します。構内乗り入れバスの運行時刻については、『岡電バスHP（<http://www.okayama-kido.co.jp/bus/index.html>）』→『時刻表』→『天満屋・岡山駅～岡山大学病院 総合版』にてご確認ください。



患者図書室移動のお知らせ

工事の関係で、7月3日（火）～患者図書室が移動しております。移動先は入院棟8階のエレベーター前ホールになります。しばらくの間、患者の皆様にはご迷惑・ご不便をおかけしますが、よろしくお願いいたします。広さの都合で、本の数は一時的に少なくなりますが、引き続きご利用ください。